

「時場礼」を、人にはまねできないほど徹底する

各学級の学級委員さんに任命書を手渡しました。学級委員の「頑張ります！」という決意をしっかりと受け止めました。その「頑張り」に期待しています。呼名の時の「はい！」という返事もすばらしかったです。みなさんは、小学校の時から「熊谷の子どもたちは、これができます！」の「呼ばれたら『はい』と元気よく返事をする」を意識して実践していますから、先ほどの返事も当たり前のように思えるかもしれません。でも、なかなかできることではないのだと思います。

ここで「凡事徹底」という言葉を紹介します。漢字から考えれば「当たり前のことを徹底する」という意味でしょうか。「凡事徹底」は、主に車用品を取り扱っているイエローハットという会社を創業した鍵山秀三郎さんが大切にしている言葉として知られています。鍵山さんは、会社を始めた頃から「凡事徹底」「平凡を非凡に努める」ことを社員に言い続けたのだそうです。平凡なこととは、先ほどの「返事」に加え「挨拶」なども例に挙げられると思います。では、挨拶を非凡に行うとは？昨年度、生徒会本部が主体となって取り組んだ「あいさつ総選挙」では、「あかるい部門」「いつでも部門」「さきに部門」「つづけて部門」で多くの生徒が表彰されました。日々の挨拶を、人にはまねできないほど、明るく、いつでも、先に、つづけていくことなどは「非凡」だと思います。先ほどの「凡事徹底」とは、「当たり前のことを徹底する」だけではなく「当たり前のことを、人にはまねできないほど徹底する」ことなのだと思います。

三尻中学校には、生活目標「時場礼」があります。昨年度、自治委員会が中心となって改訂してくれたものです。2、3年生はいうまでもなく、1年生も12日の3時間目に教室でみた生徒会専門委員会の紹介動画で登場していました。「時」は「時を守り」です。「5分前行動」などの目標があります。「場」は「場を清め」です。黙って隅々まできれいにする「黙隅清掃」などがあります。「礼」は「礼を正す」、「ハキハキしたあいさつ」「返事」などが目標です。各教室に掲示してあるはずです。これは「凡事徹底」「平凡を非凡に努める」に通じるものがあるでしょう。三尻中学校は「時場礼」を「人にはまねできないほど徹底する」ことができればいいのだと思います。昨年度、担当をしていた自治委員会は学級委員会と合併しました。先ほど、任命書を手渡した学級委員の皆さんが中心となって、各学年、各学級で「時場礼」の取組を進めていってください。宜しくお願いします。